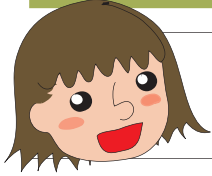




# 知床科学委員会 しんぶん

## ヒグマ保護管理方針

### 検討会議 NO. 1



「知床で今何が起きているの!」「どんな調査が行われているの!」など、タイムリーな情報をお伝えします。

#### 構成メンバー

- 松田裕之 (横浜国立大学 教授 (座長))
- 梶 光一 (東京農工大学 教授)
- 愛甲哲也 (北海道大学 准教授)
- 小宮山英重 (野生鮭研究所 所長)
- 敷田麻実 (北海道大学 教授)
- 庄子 康 (北海道大学 准教授)
- 間野 勉 (道総研 環境科学研究センター 研究主幹)

#### 今回の会議

8月4日 (木)  
斜里町公民館ゆめホール知床で今年度第1回目の会議がありました。

#### ヒグマ保護管理方針 検討会議って?

知床半島で、どうすれば人とヒグマがうまく共存できるのか議論するための会議です。

この会議は、ヒグマが出没したときの対応方法などを定めたヒグマ保護管理方針を作成することを目的としています。

※ヒグマ管理方針  
ヒグマとうまく付き合っていくためのルールブックのようなもの

## 必見! TOPIC

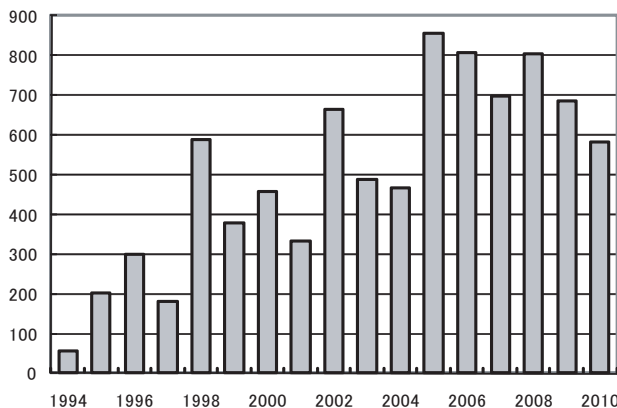
### ヒグマの出没が増えてるの?

20年前と比較すれば、増加していると言えます。

昨年、斜里町では500件、羅臼町でも100件を超えるヒグマの目撃情報が寄せられました。いずれも、一市町村の数字としては突出して多い数字です。

??? 顔

やっぱり増えてるの?



図：斜里町におけるヒグマの目撃数



ウトロの海岸に出没したヒグマの親子

90年代以降、目撃数は増減を繰り返しながら増加、近年は高止まりの状況です。

昨년이特に多かったというわけではないんだね。



人や農作物に被害を与えるヒグマですが、知床の生態系にとって重要な存在であることも確かです。近年は観光資源としても注目を集めています。ヒグマとどのようにうまく付き合っていくか、知床の大きな課題です。

## 今回話し合ったこと

- ①管理方針を決定するまでの予定
- ②住民への説明会について
- ③ヒグマに関する意識調査アンケートについて
- ④将来ヒグマをどのように管理していくのか、中長期的な方針について

注目!

地域の方が合意できる  
管理方針を目指して

これまでこの会議では、1年間をかけて管理方針を検討してきました。人とヒグマがうまく共存していくため、どのような方針が必要なのかという視点で、現在行われているヒグマ管理活動をもとに、この管理方針をまとめました。

次の段階として、地域の皆さまにこの管理方針を説明し、意見を伺う予定です。また、地域の方の意向を調査するため、アンケートを実施する予定です。

注目!

将来ヒグマをどのように

管理していくのか

管理方針は計画期間を5年としており、5年毎に見直しを行うことになっています。しかし、将来にわたって人とヒグマがうまく付き合っていくためには、ヒグマをどのように扱うのか、もつと未来を見据えた中長期的なビジョンが必要です。たとえば、現在よりヒグマに厳しい姿勢で臨むのか、よりやさしい姿勢で臨むのか。ヒグマの管理にかけるコストやマンパワーはどのくらいが適当なのか。電気柵などの予防対策をどのように進めていくのか、など様々なことが考えられます。

10年後、20年後、知床の人やヒグマを取り巻く環境は現在と大きく変わっているはずですが、ヒグマによる被害を最小化しながら、知床半島のヒグマを存続させていくためには、どのようなビジョンを持てばよいのでしょうか。

今回の会議では、この中長期的なビジョンについて話し合いを行いました。会議では、ヒグマ対策に使うコストやマンパワーなどをどう振り分け、それによって将来どうなるかをまとめて「将来シナリオ」について検討を行いました。

人とヒグマがうまく暮らすにはどうすればいいのか、一緒に考えましょう!

↓ウトロの市街地を囲む電気柵



電気柵はヒグマの侵入防止に有効です。しっかり電気が流れているか、日々のメンテナンスが欠かせません。

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター  
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

他にも知床で行われている様々な研究データをご覧いただけます!

### ■問合せ先■

環境省釧路自然環境事務所  
〒085-8639  
北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階  
TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

座長の松田です。



横浜国立大学教授。  
京都大学大学院理学研究科修了（理学博士）。  
専門は数理生態学、環境リスク学。

世界遺産地域のヒグマの行動圏内にある標津町にも参加いただき、現在行っている管理方針の考え方を明確にする形で管理方針案を作りました。同時に、クマの習慣が進んでいることから、この方針の問題点も整理し、複数の将来シナリオをまとめました。5年後の改定に備え、関係者の議論を深めていただければ幸いです。

座長 松田 裕之